

# 東京農業大学稲花小学校

学校だより【2020年11月8日】第63号



## 英語でハロウィーン

10月30日(金)、農大稲花小の英語の授業では、1年生も2年生もクラスごとに、ハロウィーンのイベントを楽しみました。ちょっと暗い照明にした体育館に先生の引率で入ってきた子どもたちは、魔女やウルフマンに迎えられます。

本格的なコスチュームでゴーストバスターやマシュマロマンに扮した英語の先生方によるゴーストバスター対マシュマロマンの戦いという楽しい寸劇に、子どもたちは見入っていました。子どもたちも、それぞれが作ったマスクを持参し、楽しく記念撮影です。その後、“Tail Tag (しっぽ取り)”ゲームや、“Teacher Says”ゲームでさらに盛り上がりました。



ご存知の方も多いかと思いますが、“Teacher Says”は、“Teacher Says”で始まる先生の指示にすぐさま従って足を上げたり、走ったりなどの行動をするが、指示が“Teacher Says”で始まらないのにうっかり従ったときは、失格するというゲーム。英語の先生による英語の指示をきちんと聞き取れないとできないゲームです。1年生もこのゲームを楽しむことができ、また、補助教員がわざと間違えたりすると、みんなで大笑いするなど、日頃から英語に親しんでいる様子を感じることのできるイベントでした。

## 入学試験が終わりました

11月1日(日)、2日(月)3日(祝)には2021年度入学試験(前期)が行われました。昨年に増しての志願者数があり、本校の教育や運営にご賛同いただく多くの方々がいらっしゃることに感謝しながらも、教職員一同は適切な入試の実行に身の引き締まる思いで臨みました。とくに、新型コロナウイルス感染防止のために「健康状況調査票」のご持参をお願いしたほか、受付での検温と手指消毒、利用した席の消毒などにご協力をいただきました。また、例年のような体育館での行動観察(簡単な運動やグループ活動など)は行わず、試験室での行動観察として、感染機会を極力ゼロにする入学試験といたしました。前期試験結果の発表に続き、11月7日(土)と8日(日)には入学試験(後期)も行われました。今後、後期の合格発表、入学手続きに続き、12月12日(土)には入学予定者に対する説明会が開催される予定です。

10月9日(金)から29日(木)まで行ったオンラインによる事前面接からスタートした今年の入学試験。食や農、環境などに関心が高く、将来を見据えて丁寧に子育てをされている保護者の方々がたくさんいらっしゃるのを知ることができ、心強くも素晴らしい機会でした。在宅勤務、幼稚園や保育園の休園、外遊びもままならない中で、受験の準備をされてきた保護者の方々には敬意を表したいと思います。

## 木材に親しもう

11月5日(木)、2年生を対象に、東京農業大学森林総合科学科の大林宏也教授による稲花タイムの学習が行われました。ご提供いただいた“つき板”という木材の薄片を使っての、木材による切り絵作りです。つき板とは、フローリングや家具などに用いられる素材だそうで、木材の種類は、クルミ、カエデ、チャンチン、ヒノキ、アメリカンチェリーなど、様々。木目や色、香りを実感しながら、思い思いのデザインで切り張りして素敵な作品がたくさんできました。

大林先生には昨年が続いての授業をしていただいたので、2年生の子どもたちも楽しみにしていたようです。先生の説明を熱心に聞いた後、豊かな発想での作業が展開されました。

東京農業大学 森林総合科学科 <https://www.nodai.ac.jp/academics/reg/for/>

## 子どもたちの不思議！？

グラウンドで遊ぶ子どもたち。中休みと昼休み、短い時間とはいえ、子どもたちは休み時間を満喫しています。追っかけっこやらボール遊び、登り棒、鉄棒、元気な声が響きます。そのような中でよく見ると、隅っこの砂場付近でくっついて遊んでいる3人組がいます。あの子たちは、いつも押したー押された、引っ張ったー引っ張られた、さらに通学の途中でも、お互いに何かともめごとが多く、それぞれの保護者からも心配の声が寄せられる子どもたちでは？

大人の目から見ると、喧嘩がイヤなら、もめごとが嫌なら、一緒に遊んだり通学したりせずに離れていればいいのに、と不思議に思うところですが、しかし、もめごとの多い子どもたち同士の組み合わせでも、思いのほか仲良くくっついて遊んでいるものです。低学年の間は、その距離間がうまくつかめていないのでしょう。グラウンドの隅っこの3人組のように仲良く遊んでいたのが、一転、もめごとになってしまい、泣いた、泣かされたになってしまうのです。とはいえ、このもめごとを経験して友だち付き合い、さらには他人との付き合い方を学ぶのです。

小学校の教員は長年の経験で、そのような子どもたちの育ちをたくさん見てきています。危険な行為やいじめは絶対に見逃しませんが、子どもたちの心に思いやりや友情が育っていくのを見守り、導いてまいります。保護者の皆様のご協力もお願いいたします。

校長 夏秋 啓子